

## 全6回のカリキュラム

講師：一般社団法人 日本カーボニュートラル協会

1

### 第1回 セミナー

脱炭素で強くなる理由

日時：9月24日（木） 13:30～15:30

会場：フェニックスプラザ 多目的ホール

定員：60名（実務担当者＋経営者・責任者）

取組む意義を理解し、  
第一歩となる自社排出量  
把握の意欲を醸成

2

### 第2回 セミナー

排出量と削減余地

日時：10月13日（火） 13:30～17:00

会場：アオッサ603号室

定員：30名（実務担当者）

自社の排出量の理解と削減仮  
説という土台づくり

3

### 第3回 フィールドワーク

現場で学ぶGX

開催時期：10月下旬に予定しています。

視察先は別途ご案内します。

削減取組の現場をみることで、  
これからの行動イメージを持つ

4

### 第4回 ワークショップ

アクション（案）の作成

日時：11月25日（水） 13:30～17:00

会場：国際交流会館 第1・2会議室

定員 30名（実務担当者）

短期的に取組可能な打ち手を  
検討し、アクションにつなげる

## 自社で脱炭素の取組みを実践

5

### 第5回 ワークショップ

プラン（案）の磨き上げ

日時：1月22日（金） 13:30～17:00

会場：国際交流会館 第1・2会議室

定員 30名（実務担当者）

実践してみでの反省点と長期的  
な打ち手を反映させ、効果的な  
アクションプランを検討

6

### 第6回 ワークショップ

今後のアクション

日時：2月26日（金） 13:30～15:30

会場：国際交流会館 第1・2会議室

定員 60名（実務担当者＋経営者・責任者）

アクションプランを経営層に発信  
し、今後の継続的な取組みへ

## 参加企業 募集

# 「脱炭素を成長力に変える」 実践型人材育成 カリキュラム

## カリキュラムの目的と概要

本カリキュラムでは、脱炭素への取組みをエネルギーコスト削減や経営体制の強化につなげ、企業の成長力向上を目指し、**企業の成長戦略として脱炭素を推進できる人材の育成を目的**としています。

参加者には、自社の温室効果ガス排出量や削減手法を理解し、社内外の関係者を巻き込みながら取組みを推進する実践的なリーダーを目指していただきます。

また、参加企業同士が課題や悩みを共有し、**継続的に学び合えるネットワークづくりの場**としても位置付けています。

全6回のカリキュラムでは、排出量の把握や削減ポイントの検討を行うセミナー、先進事例を学ぶフィールドワーク、アクションプランを策定するワークショップを通じて、**自社で実践できる脱炭素経営の取組み**につなげていきます。

## 目的

・脱炭素推進役の育成  
・仲間づくり

・省エネの取組みや  
設備導入が促進

・エネルギーコスト削減  
・経営体制の強化

## 内容

① 学ぶ  
セミナー  
（自社排出量把握）

② 体感する  
フィールドワーク  
（削減イメージ醸成）

③ 考える・動く  
ワークショップ  
（削減に向けた打ち手の検討）

## ◆主催

福井県エネルギー環境部エネルギー課

TEL：0776-20-0302 E-mail：energy@pref.fukui.lg.jp

## ◆事務局

（株）福井銀行営業支援グループ地域創生チーム

TEL：0776-26-9760 E-mail：fbk01804@fukuibank.jp

お申し込みはこちらから



# カリキュラム全体像 — 「脱炭素を成長力に変える」実践型人材を、全6回で育成

6回の学びを“右肩上がり”に積み上げ、会社の成果へ

脱炭素は会社も得？

1



## 第1回 | 脱炭素で強くなる理由

(セミナー内容)  
■研修のゴール  
■脱炭素経営が企業の成長につながる事例紹介

対象者: 経営者、責任者、実務担当者



排出量を把握。  
どこで削減する？

2



## 第2回 | 排出量と削減余地

(セミナー内容)  
■エネルギー構造の棚卸  
■自社CO2排出量の算出  
■削減ポイントの仮説立て

対象者: 実務担当者



取組のイメージが  
つかめた！

3



## 第3回 | 現場で学ぶGX

(フィールドワーク内容)  
■省エネ取組等の事例視察  
■現場担当者との対話

対象者: 実務担当者



## 第4回 | アクション案の作成

(ワークショップ内容)  
■削減仮説の共有  
■行動を変える事で、削減につながるアクションを検討

対象者: 実務担当者



行動変容なら自社でも  
できるかもしれない

4



## ■ 育成を目指す人材

- ・自社のCO2排出量と削減手法を理解している人材
- ・周囲を巻き込みながら取組を進められる人材

## ■ 会社のメリット

- ・自社のCO2排出量が把握できる
- ・CO2削減に取組むことで収益力向上
- ・取組みを先導できる人材を育成できる

## 第6回 | 今後のアクション

(内容)  
■経営者にアクションプランの内容をプレゼンし、経営者を今後の取組に巻き込み、推進力のアップを図る

対象者: 経営者、責任者、実務担当者



この案を会社で提案しよう！

6



## 第5回 | プラン案の磨き上げ

(ワークショップ内容)  
■アクション後の反省点共有し改善点をプランに反映  
■設備投資等、長期視点の削減の打ち手を踏まえたアクションプラン作成

対象者: 実務担当者



削減効果をもっと出すなら、  
長期的な打ち手も必要だな、..

5

